

21回目の「町会のお宝・自慢」紹介コーナー。約2年で市内の全167町会のお宝を紹介してきましたが、今号で最終回となります。今号では、間もなくやって来る春にもってこいのハイキングコースや、佐野市の誇る雄大な自然を中心に紹介します。

また後半では、これまで「町会のお宝・自慢」を紹介してきた総括や、今後の「観光立市」についての展望などをお話します。

寺久保町

赤見地区

《寺久保山(不動山)

ハイキングコース》所在地：寺久保町地内

寺久保山(不動山)の標高は約357mです。変化に富んだハイキングコースになっており、般若峠から寺久保山に向かうコースと不動の滝から寺久保山に向かうコースがあります。頂上からの展望が非常に素晴らしく、これからの時期カタクリの花を楽しむこともできるなど、四季折々の自然に触れながらのハイキングを楽しむことができます。またコースの中には雷電神社や医王寺などの寺社もあり、心地よい疲労感とともに、心安らぐ神社仏閣を満喫することもできます。

寺久保町ではほかに、熊野神社、映画「結婚しようよ」ロケ地跡、鏡岩などを紹介いただきました。



瓦町

田沼地区

《関東ふれあいの道

「松風のみち」》所在地：栃本町地内 田沼駅付近

環境省の長距離自然歩道構想に基づいて整備された、首都圏自然歩道の1つです。コースは田沼駅付近から唐澤山神社までの一般向けウォーキングコースです。道中には明治38年に建立された「別格官幣社唐澤山神社道」の石標や、しんこまんじゅうが有名な菓子店などもあり、唐沢山では四季折々の自然が楽しめます。栃木県の全コース踏破達成者には、認定証と記念バッジが、1都6県の全コース踏破達成者には認定証と純銀製のバッジが交付されるそうです。詳しくは栃木県自然環境課 ☎028(623)3211へお問い合わせください。

瓦町ではほかに、たぬまふるさと館、郷土史研究家、根古屋神社春季例祭、泉龍寺などを紹介いただきました。



上作原

野上地区

《野上の山と三滝》

所在地：作原町地内

上作原は佐野市の最北部に位置し、熊鷹山、十二山など1000m級の山々が連なります。四季折々その表情を変える豊かな自然は、多くの登山者に愛されています。特に熊鷹山は、その名の由来となった絶滅危惧種クマタカが生息するほどの雄大な自然が楽しめます。また、それらの山から流れ出す川は旗川の源流となっており、滝が多いことでも有名です。なかでも三滝は、一の滝から三段に連なる落差約45mの滝で、全景を一望することはできないものの、その美しさと道程の険しさから幻の滝とも呼ばれています。

上作原ではほかに、蓬山ログビレッジ、蓬萊山神社と蓬萊の名水などを紹介いただきました。



山形

新合地区

《三床山(みとこやま)》

所在地：山形町地内

山の南(戸奈良付近)、西(梅園付近)、北東(岩崎付近)と、3通りの登山道があることから、いつからか三床山と言われるようになったと伝わっています。標高は334.9mの低山で、山麓にはセツブンソウやカタクリ、アズマイチゲなどが咲き、早春にはその可憐な姿で迎えてくれます。

西から三床山を目指すと、順に一床(いちとこ)山、二床(にとこ)山という兄弟のような山々が連なっており、特に一床山の山頂では360度の大自然を体験できます。富士山や浅間山、男体山に代表される日光連山などの雄大な姿はもとより、東京の高層ビル群や東京スカイツリーが見えるかもしれませぬ。



連載終了にあたって

佐野市では「観光立市」、すなわち観光による地域振興・まちづくりを推進しようということで、佐野市の総合計画中期基本計画において、「観光立市の推進」をリーディングプロジェクト（佐野市のまちづくりを推進するにあたり、特に重要でかつ先導的な役割を持つ施策横断的な計画）として位置付けています。

観光立市の目的は、「住んでよし、訪れてよし」の佐野市を築くことです。そのためには、観光客に対する「おもてなしの心」を持つことと、市民自らが地元に対する理解と愛情を深めることが重要になります。加えて、住んでいる人間にとっては当たり前になっているものが、実は貴重で珍しいものであるケースも多々あり、地域に埋もれている観光資源を掘り起こして磨き上げていくことも大切です。



それらを踏まえて、平成22年2月ごろ、市内167町会の協力をいただいて「町会のお宝・自慢調査」を実施し、平成22年6月15日号「広報さの」から、その紹介を進めてきました。調査へのご協力およびこれまでのご愛読ありがとうございました。お住まいの町会や近くの町会でも意外と知らない「お宝・自慢」があったのではないのでしょうか。今後はそういった、まだ観光資源とまでは言えない「お宝・自慢」を磨き上げ、興味を持っていただけるような観光スポットにするお手伝いもしていければと考えています。

佐野ブランド化の推進

ちまたで大人気の「さのまる」がブランドキャラクターになっている「佐野ブランド」。市民が自信を持ってお勧めできる「さのらしさ」にあふれるものや場所を佐野ブランドとして認証することによって、佐野を訪れる人へのPRと、市民の郷土愛を育むことを目的としています。これらのブランド認証品が、テレビや新聞などのメディアに取り上げられた際に、少しでも「嬉しい」と思ってもらえれば、それが観光立市への第一歩です。

ちなみに、佐野ブランド大使になっている「ダイヤモンド☆ユカイ」さんは、佐野を訪れた際に見た空が気に入って佐野に移り住んだという、「住んでよし、訪れてよし」を体現するような人物です。



名刺サイズ、二つ折り観光パンフレット

平成22年夏に初めて製作し、好評いただいている「名刺サイズ、二つ折り観光パンフレット」ですが、間もなく春モデルが完成し、春夏秋冬すべてが揃います。このパンフレットを製作した経緯は、市民の皆さんと一緒に佐野市をPRできるものがあればということでした。名刺サイズということで、名刺交換のようなケースを想定してはいますが、それ以外にも使用いただけますので、お気軽に観光立市推進室へお問い合わせください。



春バージョンは
もうすぐお届けします

▶お問い合わせは、観光立市推進室 ☎ (27)3012